



2で割る

夏期講習前の恒例イベント「おもしろ理科実験」に今年は4歳から中2までの幅広い参加者があって盛り上がりました。同じ日に飛び込んできたニュースが来春の千葉県公立高校入試へのマークシートの導入です。もちろん採点ミスの防止のためですが、全問が選択式になるわけではありません。これまで通りの記述問題も含めた答案をスキャンしてデジタル採点するだけで、問題傾向が大きく変わることはなさそうです。

さて計算ミスをなくして速く正確にというのは年齢や場面に関係なく必要なことです。しかし最近は何かちぐはぐなことを感じます。例えば筆算でしなさいという設問の小数が混ざった3桁の足し算を無理に暗算でやって間違えてしまう小学生もいれば、素因数分解で2桁の整数を2で割ることを暗算せずわざわざ筆算でやる中学生もいます。平行根の計算をする時にルートの中の数字をまずは暗算で2で割れば、そのあとの計算が素早くできて楽なのに、その数がすぐに浮かばない中学3年生も見かけます。これらには何か共通する理由があるのかもしれませんが。思いつくのは日常生活と結びついて計算を行う場面が減っていることです。最近では現金で買い物をするのが少なくなってきました。財布の中のお金で足りそうかどうかを考えなくてもいいのです。また何人かで食事に行ってもカードや電子マネーで支払うことが普通になってきました。そしてスマホの計算機能で一人分の金額をはじき出して終了。これでは計算力だけでなく金銭感覚が身につかないままになってしまうのが心配です。

文章で答えてくれるChatGPTだけが注目されていますが、実はスマホで計算式を読み込めば途中式も含めて解答を表示してくれるアプリもすでにあります。楽をしようと思えばいくらでもできるのですが、身につけておくべき数字の感覚の大切さは今後も変わらないと思うのです。

受験生のみなさんは、入試まであと何日なのか、そしてその折り返し地点が何日後なのかをいつも暗算で確認しておきましょう。